

2006年 鳥取市政 10大ニュース

平成 18 年はみなさんにとってどんな年でしたか？

本市では、合併後初の総合計画による 20 万都市づくりのスタートをはじめ、指定管理者による公共施設の管理運営の開始、任期満了にともなう市長選挙、「新鳥取市広域 CATV 網」の完成、職員の不祥事とその再発防止に向けた「人材育成基本方針」「公金の保管および管理の改善方針」の策定、全国スポレク祭の開催、そして、

11 月の市議会議員選挙や日本初の「砂の美術館」のオープンなど、いろいろなことがありました。

これら平成 18 年にあった主な出来事や事業の中から、各分野の団体の代表のみなさんや、市議会議長、市長など 11 人からなる選考委員会による厳正な審査の結果、平成 18 年の鳥取市政 10 大ニュースが選考されましたので紹介します。

1 位 竹内市政、5つのマニフェストを掲げ 2期目スタート

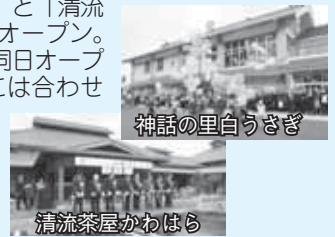
4月9日鳥取市長選挙が行われ、20万都市のさらなる前進と5つのマニフェストを掲げた竹内市長が再選。鳥取自動車道開通による地域発展と行財政改革推進の重要な時期に、竹内市政2期目がスタート。



竹内市長再選初登庁

6 位 白兔と河原の2箇所の「道の駅」同時にオープンし、利用者は100万人突破

道の駅「神話の里白うさぎ」と「清流茶屋かわはら」が4月21日オープン。同じ自治体で複数の道の駅を同日オープンは全国初。来場者も9月には合わせて100万人を突破。また、「清流茶屋かわはら」は旅行情報誌の中四国の道の駅を対象とした読者満足度アンケートで第1位に。



神話の里白うさぎ

清流茶屋かわはら

2 位 鳥取砂丘に日本初の「砂の美術館」オープンによる魅力の創造と景観保全進む

国内初の「砂像」を展示する「砂の美術館」が11月に鳥取砂丘にオープン。7つの砂像を展示し、ライトアップも。また、ボランティアによる除草活動も活発化し、参加者、回数ともに急増。



砂の美術館「ピエタ」像

7 位 鳥取自動車道開通記念の「2009 鳥取・因幡の祭典」の基本構想まとまる

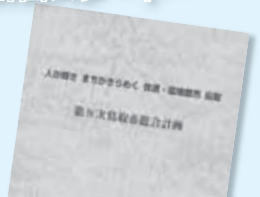
2009年の鳥取自動車道開通にあわせ、県東部全域で行う「因幡の祭典」の開催に向けた取り組みが本格化。経済界などの民間主導により、県東部5市町が連携し基本構想の策定などが進められた。



2009年の開通に向け工事が着々と進む鳥取自動車道

3 位 「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」を目指し 第8次鳥取市総合計画スタート

市民との協働により策定した合併後初の総合計画による新しいまちづくりがスタート。平成27年度を目標に「夢があり誇りのもてるまちづくり」へ向けた具体的方策が明らかに。



8 位 「鳥取しゃんしゃん祭」8月第2土日開催でさらに盛大に

しゃんしゃん祭の開催日を8月の第2土曜、日曜に変更し、新しくフリースタイルの「すずっこ踊り」を取り入れるなど、花火大会とあわせ装いを新たに。12日の踊りには最多の4000人が参加し11万8000人が詰め掛けた。



フリースタイルの「すずっこ踊り」

4 位 合併後の鳥取市の情報格差解消のためのケーブルテレビ、インターネット網完成

平成16年度から整備を進めてきた「新鳥取市広域CATV網」が完成し、8月にサービス開始式典が行われた。全市域でCATVの視聴、高速インターネットサービスの利用が可能となるとともに、電子自治体の基盤が整備された。



広域CATV網整備事業サービス開始記念式典

9 位 がん発見・治療の画期的な診断装置PET/CTを市民債発行により、来春市立病院に導入

がん発見・治療に有効な診断装置であるPET/CTを市立病院に来春設置が決定。導入にあたり「がん対策市民債」を県内4市で初めて発行し、財源とした。また、突然死の原因となる心室細動に対応するため、市役所本庁舎などにAEDを設置。あわせて、心配蘇生法の救命講習会を開催。



PET/CT装置

5 位 新市全域での初の市議会議員選挙、36人の新議員が決まり、女性議員は過去最多の5人に

任期満了にともなう、合併後初の全市域を選挙区とした市議会議員選挙が定数36に対し53人の立候補者により実施され11月26日に投票、即日開票される。この選挙は、投票率67.09パーセントで前回は1.6ポイント上回り、女性議員は過去最多の5人に。



10 位 「とっとりきらめき祭」合併2周年・郡山市姉妹都市提携1周年記念事業として合唱を中心に開催

11月11日、「とっとりきらめき祭」を市の芸能文化祭にあわせ、郡山市姉妹都市締結1周年記念事業として開催。同市の福島県立安積黎明高校合唱部と市内合唱団体の共演も実現。同校の全国トップレベルの合唱が披露され、感動を呼ぶ。



安積黎明高校合唱部